

編集後記

★ 現在は新型コロナウイルス感染症パンデミックの第8波の最中ですが、次第にその処し方にも慣れてきた気がします。学会への参加も、この3年間のオンライン学会やオンデマンド研修講演などの経験から、現地に行く必要はなくなったと思っている読者も多いと思います。ただ一方で、現地参加ならではの緊張感をもった発表や質疑応答こそが、若手の教育に一定の意義があることもわかってきました。

★ もう一つ現地参加の魅力としてあげたいのは、会場のどこかにあるはずの学術集会のポスター展示です。その学会以後、ほぼ1年間に開催が予定されている学術集会のポスターが、A2サイズに統一されて掲示されています。若い先生方の多くは発表や講演を聞くことが主目的なのでポスターをゆっくりとみる暇はないかもしれませんが、意外に面白いのがこの学術集会のポスター展示です。ポスターを通じて学会に対する会長の思い入れがわかりますし、ポスターそれ自体の出来やテーマに隠された会長のセンスを鑑賞するよい機会だと思います。

★ ポスターバックは開催都市の写真や名跡であることが多いのですが、最近ではテーマに沿ったイラストやイメージ写真も増えてきました。基本的にはコンベン

ション会社が数点作成し、そのうち気に入ったものを選ばれていると思いますが、会長自らが撮影した写真やデザインが採用されることもあります。また、もちろんテーマは会長が自ら考えます。ちなみに過去5年間の日本整形外科学会学術総会のテーマは、第92回(2019年)が「整形外科の元気は、日本の元気。～異分野コミュニケーションからオープンイノベーションへ～」、第93回(2020年)が「学と術と道」、第94回(2021年)が「伝統と創造—夢・挑戦・実現」、第95回(2022年)が「Smart

Medicine, Smart Orthopaedics—整形外科の未来—」、第96回(2023年)が「究める知・仁・術」となっています。総会なので全体を網羅する漠然としたテーマになりがちですが、招待講演やシンポジウムなどはこれに沿って計画されますので、会長の思いが凝縮されています。一部の学会では、従来から四字熟語がテーマとして掲げられる

こともあり、国語の勉強にもなります。「鬼手仏心」とか「千思万考」とかが記憶にあります。私自身も脊椎インプラント破損をイメージした「百折不撓」をテーマに選んだことがあります。ロッドが折れてしまうことがあっても、それにめげずしっかりと手術を行うための研究をしようという思いを込めました。若い先生方には会場に足を運んで、学会会長の創意工夫に満ちたポスターを鑑賞してみることをおすすめします。

(大川 淳)



Ernst Amory Codmann の生まれ故郷
Boston の Boston Common 公園

生田義和 画
2023-3

顧問	林 浩一郎	石井良章	中村孝志	高岡邦夫	長野 昭
	四宮謙一	岩本幸英	星野雄一	越智光夫	遠藤直人
編集	大川 淳	松田秀一	竹下克志	安達伸生	稲葉 裕
定価 2,860 円 (本体 2,600 円 + 税 10%)	臨床雑誌 整形外科 74 巻・3 号 (3 月号, 第 891 冊)				2023 年 3 月 1 日 発行
	編集兼発行者 東京都文京区本郷三丁目 42-6				小 立 健 太
	印刷所 東京都江東区亀戸七丁目 2-12				三報社印刷株式会社
発行所 株式会社 南江堂	〒113-8410 東京都文京区本郷三丁目 42-6				編集 TEL 03-3811-7619 FAX 03-3811-8660
	https://www.nankodo.co.jp/				営業 TEL 03-3811-7239

本誌に掲載する著作物の複製権、翻訳・翻案権、上映権、譲渡権、公衆送信権(送信可能化権を含む)、貸与権、二次的著作物の利用に関する原著作者の権利は、(株)南江堂が保有します。

【JCOPY】(出版者著作権管理機構 委託出版物)

本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に、出版者著作権管理機構(電話 03-5244-5088, FAX 03-5244-5089, e-mail: info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。

広告申込所: 東京都千代田区富士見二丁目 12-8 日本医学広告社 TEL 03-5226-2791